

平成30年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区别所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動の施設として設置</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム1(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成28年度318,400千円、平成29年度318,400千円、平成30年度319,156千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 192,827人(前年度201,094人)</li> <li>・稼働率99.4%(前年度99.1%)※利用日数に対する使用率</li> <li>・利用率88.7%(前年度87.9%)※利用可能区分に対する使用率</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の運営方針である「生涯学習」「地域支援」「地域交流」を基に、大きなイベント事業である埼玉学生鉄道模型展やコミセンまつりを中心として、幅広い年齢層を対象とした事業を数多く開催した。(本年度115回、前年度140回)また、次年度事業計画の基になる参加者へのアンケート調査を行い内容分析評価を行った。</li> <li>・今年度、初めてリージョナル・デリバリー事業を実施した。福祉施設に講座受講生が赴き、学習成果の発表と施設の方との交流を図ることを目的とするもので、評判も良く次年度も継続して行く事業となった。</li> </ul> <p>◇維持管理業務の状況</p> <p>A、設備管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期修繕計画に基づき、設備の維持管理を有資格者や専門業者と連携して実施した。また、毎月開催されるサウスピーア連絡調整会議にて、各施設における設備に関する意見を集約調整し、環境改善に努めた。</li> </ul> <p>B、施設警備業務、駐車場・駐輪場管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設警備は、24時間管理体制のもと、人的警備・機械警備を併用して徹底した警備保安業務に努めた。また、南区役所の業務補助等も遂行した。</li> <li>・駐車場・駐輪場管理業務は、最初に利用客と接する場所でもあるため、親切丁寧な案内に心掛け気持ちよくご利用いただけるよう努めた。</li> </ul> <p>C、清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の清掃及び定期清掃において、スケジュール管理下のもと施設の美観、清潔、快適を目的として業務を実施した。</li> </ul>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業、コピー機収入 3,513千円 (前年度 3,482千円)</li> <li>・指定管理料 319,156千円 (前年度 318,400千円)</li> </ul> <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費 165,168千円 (前年度 166,345千円)</li> <li>・事務費 84,287千円 (前年度 79,015千円)</li> <li>・施設管理費 70,513千円 (前年度 73,443千円)</li> <li>・事業費 2,699千円 (前年度 3,077千円)</li> </ul>

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	・昨年度に引き続き利用者満足度調査を行った。ご意見、ご要望の回答については、次年度ホームページ上で掲載予定であり、各種会合においても発表した。また、自主事業参加者対象アンケート調査も行い、人気のあるものないものを区別し、次年度に活かした事業計画を立案した。
(8)その他	・利用客の利便性向上のため、①雨天時の忘れ物傘レンタル ②身体の不自由な方のため、エレベーター前にサイコロソファの設置 ③案内表示物を大きく見やすく ④ゴミ箱の設置等を実施した。 ・環境保護の観点からさいちゃんの「3Rパートナーシップ宣言」の参加団体としてゴミの削減、ペットボトルキャップの回収等に努めた。

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
職員教育への取り組み	・業務に従事するもの全員を対象に、年2回の職員研修を外部講師指導のもと実施した。指定管理者として、利用者の安心・安全を確保する役割を実践するため、防災への取り組み及び接客研修を実施した。その他、個人情報保護マネジメントシステム(PMS)等、セキュリティ対策についても定期的に職員に学習させた。
基本方針に基づく自主事業への取り組み	・「生涯学習」「地域交流」「地域支援」の運営方針を基に、幅広い世代の方が参加できる事業を数多く企画実施した。今年度は、待ちの姿勢から外へ向かってのアウトリーチ活動を展開し、より一層地域コミュニティ活動の役割を担うことができた。また、地域連絡協議会委員及び関係施設の方とも交流を深め、発展的な意見を基に事業の取り組み強化を進めた。
危機管理体制への取り組み	・危機管理マニュアルの見直し更新を関係各所としながら行った。年2回の消防訓練は、その都度新規訓練を取り入れ、緊張感をもって実施した。また、帰宅困難者一時滞在施設の役割を担うため、各施設への啓発活動及び隣接する一時滞在施設との地域連携を協議した。
経費削減への取り組み	・空調の設定温度の一定保持、共有部分や事務所照明の間引き消灯等は、継続して実施した。今年度は、新たに電力コスト削減を出来得る限りの電力会社と新規契約を締結した。また、共有スペースにおいて調節照明等、利用客にご不便をかけないものについては、新たに消灯して経費削減に努めた。

## 3. 評価

(1)指定管理者による評価

<p>・平成25年1月のオープン以来、今年度は、過去最高の利用率88.7%、利用件数17,005件を実績として残すことができた。これは、広告宣伝の強化と質の高い事業を展開したことが考えられるが、それにもまして口コミによる宣伝効果も大きな要因の一つにあげられる。顧客満足度調査で評価基準に対して96.6%と高評価の数値に実証される。但し、今後の課題としては、予約がとりづらいといった声もあり、需要と供給のバランスを整えていく対策を考えたい。</p> <p>・複合施設の中では、指定管理者が各施設や利用客の様々な意見要望を集約し、施設の環境改善に努める必要があるが、今年度は、設備・警備・清掃を含め大きなトラブルもなく順当に業務を進めることができたことは、大いに評価できるものとする。また、こうしたことは、関係各所との連絡調整会議や地域連絡協議会、指定管理者内部での運営会議、責任者会議、職員研修等を随時開催実施したことの結果といえる。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進

・事業内容を工夫し、幅広い年代が利用できるように努めていた。

②経費の削減

・電力契約の見直し等、節約に努めていた。

③適正な管理運営の確保

・保守点検はおおむね計画どおりに実施されていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に管理運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続きコミュニティセンターの3つのコア機能(生涯学習・地域交流・地域支援)の充実に努め、サウスピア全体の適切な維持管理及び運営を実施するよう指導していく